

北海道夕張高等学校 令和7年度 キャリア教育全体計画

保護者・地域の期待 ○ 国公立大学進学実績 ○ 部活動の活性化 ○ 地域への積極的参画 ○ 社会に通用する人材（マナー・スキル） ○ 人間的成長	校 訓 研鑽・自主・礼儀 本校の教育目標 1 心豊かな人間を育てる 2 知性を磨く人間を育てる 3 主体的に行動する人間を育てる	生徒の実態 ○ 素直で純朴 ○ 意欲的に取り組む ○ 多様な進路希望 ○ 自尊感情が乏しい ○ 固定化した人間関係 ○ 社会的経験の不足
目指す学校像 ○ 安心して学びあう学校 ○ 進路希望をかなえる学校 ○ 地域に貢献する学校 ○ 教職員の取組が実る学校	目指す生徒像 ○ 社会に通用する生徒 ○ 主体的で自律的な生徒 ○ 粘り強く努力する生徒 ○ チャレンジする生徒	目指す教師像 ○ 常に学ぶ教師 ○ 生徒に寄り添う教師 ○ 率先垂範する教師 ○ 協働する教師

本年度の重点目標 1 主体的な学びによる学力の向上と進路実現 2 人間性・社会性(三つのスキル・チャレンジモースピリット)を育む教育の充実 3 地域との協働	キャリア教育の全体目標 1 地域社会へ貢献できる人材の育成。 2 夕張高校ならではの取り組みに積極的に挑戦させ、他者と協働しながら自己の研鑽を進める。
---	---

人間関係・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力	自分が「できること」「意義を感じる」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

各学年別重点目標		コース別重点目標	
1 学 年	○各教科や進路指導部と連携して職業観・勤労観を育み、生徒自らの生き方についての指導や支援を活発に行う。 ○時期に合わせた各種SSTを積極的に取り入れ、学校生活に適應することのできるコミュニケーション能力を育成する。	大学 進 学	○校内外の各種研修に積極的に参加させることで幅広い教養を体得させる。 ○個に応じた指導で、国公立大学をはじめとする多様な進路希望に寄り添った指導を行う。 ○ICTを活用した早期からの個別学習を進め、家庭学習が充実するようバックアップし、進学に向けた基礎学力の定着を図る。
2 学 年	○インターンシップを通じて職業観・勤労観を養い、生き方について考えさせるとともに、進路実現に向けた具体的支援を行う。 ○時期に合わせた各種SSTを積極的に取り入れ、様々な社会に適應できるコミュニケーション能力を育成し、社会人としての自信をつけさせる。	就職・ 専門 学校 進 学	○外部人材を活用して地域課題に積極的に取り組ませ、社会人として必要な能力の伸長を図り、地域貢献できる人材を育成する。 ○学年・発達に応じて体験的活動を計画的に実施し、リーダーシップ・フォローシップを高め、主体性や自己肯定感を育む。 ○資格取得を推進し、社会生活における実践的能力を身に付けさせる。
3 学 年	○進路実現に向けた計画的な取り組みを支援する。 ○社会人基礎力や協働して課題等を解決する能力を育む取り組みを積極的に行う。		

教 務 部	生徒指導部	進路指導部
○ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びや教科横断的授業を通して、主体的に取り組む力や課題対応力を育む。また、生徒が見通しを持って学習に向かうなど、自己管理能力を育む。 ○生徒1人1人の実態を把握し、学力の向上を目指した個別学習の推進を行う。	○基本的な生活習慣を確立させ、健康的で前向きな生き方ができる土台作りを行う。 ○自立した18歳の育成に向け、自らの置かれた環境を自分たちの働きかけでより良い環境に変えていく活動や経験を通し、社会に参画する主体性を育む。 ○生徒会行事や部活動での他学年との協働や地域の方々との交流を通して、多種多様な価値観や考え方をもち1人1人の能力やスキルを認め、組織の中で個人を活かすことができる人材を育成する。	○生徒1人1人が進路実現を目指すにあたり、自らの進路を切り拓いていくために必要な力を自覚して明確な目標を定め、その目標に基づいて進路設計をしていくためのサポートを行う。 ○各学年で探究活動に軸を置き、発達段階に応じた進路行事を通して充実した学びの機会を提供することで、キャリアプランニング能力を身に付けさせる。

北海道夕張高等学校 令和7年度 キャリア教育の全体計画

各教科・科目におけるキャリア教育		総合的な探究の時間での学年共通の取り組み	
国語	「聞く、話す、読む、書く」能力を伸ばすために、文章を正確に丁寧に読む指導を基本におく。(それが相手の意図を正しくつかむというコミュニケーションの基本となる。)また、様々な文章に触れることで、興味関心の幅を広げ、他者の価値観や個性のユニークさなどを理解し、受け入れる態度を養っていく。	○3学年・全体報告会実施・参加 ○2学年・全体報告会実施・参加	
地歴	社会的なものの見方・考え方を理解させるとともに、自らの課題を認識させ、解決する能力を養う。また、考えたこと、調べたことに対する説明ができるとともに、議論できるような力を養う。	各学年別 総合的な探究の時間での具体的取り組み	
公民	「職業選択」については、産業構造の変化やその時々の雇用情勢を把握できるようにするとともに、「雇用と労働問題」について、様々な観点から問題に取り組む態度を養う。	1学年	探究テーマ「夕張と自分を知る」 夕張市の過去や現在について詳しく知り、得た知識や考えを整理・分析する。 その他: 進路研究、志望理由書と自己推薦書
数学	地域課題や日常生活において、数学的視点での課題の発見・考察・処理について学び、分析力・課題対応能力を養う。また、自他の評価においての適切な表現を学び、問題や課題についての議論や説明を行うことで、コミュニケーション能力や自己表現力を養う。	2学年	探究テーマ「未来の夕張を考える」 各グループごとの視点で、課題とその解決策を見つけ出し、企画書の作成を目指す。 その他: インターンシップ事前・事後指導
理科	今日の科学や科学技術の発展はめざましく、その成果が積極的に社会に還元されている。そこで、たんなる語句の暗記や科学的知識の習得に留まるのではなく、物事の本質を見抜き考えられる科学的思考力・判断力を養う。また、得た知識を用いて自然の事物や現象を科学的に思考・表現する力を養い、生涯を通じて学び続ける姿勢、科学的態度を身に付ける。	3学年	探究テーマ「理想の夕張をつくる」 ・昨年度までに立案した夕張市の活性化につながる企画を実行する。 ・実施した企画を振り返り、結果を検証し、下級生、市職員、市民に向けて報告する。 その他: 自己PRについて、面接試験対策
保健	生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続し、スポーツとの多様な関わり方を状況に応じて選択できる資質や能力を育成する。また、基本的な生活習慣の確立を目指すとともに集団行動や仲間と協力して達成することの喜びを味わいながら、社会人基礎力を高めることを目標とする。	各学年別 LHR・特別活動での具体的取り組み	
芸術	用具の準備や片付けを通し、日常生活における公衆秩序に対する考え方を身に付ける。 楽しみながら作品作りを行い、鑑賞を通し感性を刺激することで、創造性と自分の考えを述べる言語能力、表現力を養う。用具の特性を捉え、より良い表現方法を工夫する。	1学年	各種オリエンテーション 校舎見学・委員会紹介(生徒会執行部) 基礎力診断テスト(学力チェック)、振り返り 各種アセスメントツール実施 コース・科目選択ガイダンス SCによる集団カウンセリング 進学相談会 学校祭・体育祭準備を通してのSST
外国語	国や地域を越え、人と情報が行き来するボーダーレスな時代に適応し、文化交流を含むグローバル化社会に対応すべく、読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能におけるバランスがとれたコミュニケーション能力を養い、言葉をツールとして使用しながら意思疎通を図る姿勢をもつことを目標とする。	2学年	クラスボランティア 職業レディネステスト 基礎力診断テスト(学力チェック) 各種アセスメントツール実施 SCによる集団カウンセリング 学校祭・体育祭準備を通してのSST 見学旅行事前指導～ルール決め、しおり・研修録の作成
家庭	自己実現を目指した主体的な生活者の育成のため、人間関係形成能力、将来設計能力、意思決定能力を身に付け、将来的展望を持てる態度を育てる。また、家庭科の総合的な知識・技術を習得させ、生活や地域の課題を主体的に解決することで自らの生活だけでなく、持続可能な社会にも目を向けることで、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を養う。	3学年	クラスボランティア計画・実施 基礎力診断テスト(学力チェック) 各種アセスメントツール実施 SCによる集団カウンセリング 学校祭・体育祭準備を通してのSST 学年レクリエーション計画・実施
情報	情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得により、情報社会の諸課題を主体的・合理的に、且つ倫理観を持って解決し、情報産業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を養う。情報コミュニケーションの特性を踏まえ、社会に及ぼす影響や望ましい利用態度を考えた上、適切に利用できる人材を育む。		
商業	社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てる。仕事に役立てられる専門的な知識や技術の習得を目指し、創造的な能力や実践的な態度の育成を行うため様々な学習の機会を確保する。また、社会・職業の現実的理解を深め、自分が将来どのように社会に参画していくか考えながら、自己の将来の可能性を広げさせる。		